

2007年12月期決算説明会

アライドテレシスホールディングス株式会社
(東証2部:証券コード6835)

2008年2月19日

連結決算のサマリー

(単位:百万円、切捨て)	2006年12月期		2007年12月期		前期比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	52,729	100.0%	53,899	100.0%	1,170	2.2%
営業利益	3,385	6.4%	1,453	2.7%	4,838	-
経常利益	3,345	6.3%	745	1.4%	4,090	-
純利益	8,075	15.3%	44	0.1%	8,119	-

売上高ポイント

- 約12億円増は、特に欧州とアジア・オセアニアが伸びを示しました。米国はほぼ横ばいとなりましたが粗利益の改善となりました。日本は通期前期比マイナスとなりましたが、第4四半期単体では伸ばしました。

営業利益ポイント

- 製品原価の低減、高い利益率の製品売上げが好調だった結果、売上総利益率が42.9%から45.6%に向上しました。
- 一昨年から進めているリストラクチャリング効果により、販売管理費28億83百万円の圧縮をしました。

経常利益ポイント

- 期初に比べ円高が進み、評価損として為替差損が2億46百万円発生し、支払利息の増加により約4億円となりましたが、前期比40億90百万円の増益となりました。

純利益ポイント

- 投資企業の買収による株式売却が特別利益として発生したことで、7億44百万円計上しました。
- 事業再編費や子会社の減損損失などにより、8億34百万円の特別損失を計上しました。
- 前期比81億19百万円の増益となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円、切捨て)	2006年12月期		2007年12月期		前年比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	52,729	100.0%	53,899	100.0%	1,169	2.2%
売上原価	30,096	57.1%	29,309	54.3%	786	2.6%
売上総利益	22,633	42.9%	24,590	45.6%	1,956	8.6%
販売費及び一般管理費	26,019	49.3%	23,136	42.9%	2,883	11.1%
営業利益(損失)	3,385	6.4%	1,453	2.7%	4,839	-
営業外収益	493	0.9%	172	0.3%	321	65.1%
営業外費用	453	0.8%	880	1.6%	427	94.3%
経常利益(損失)	3,345	6.3%	745	1.4%	4,090	-
特別利益	70	0.1%	744	1.4%	673	962.9%
特別損失	1,904	3.6%	834	1.5%	1,069	56.2%
税引前純利益(純損失)	5,179	9.8%	655	1.3%	5,834	-
法人税等	3,219	6.1%	610	1.1%	2,608	81.1%
少数株主利益又は損失	322	0.6%	0	0%	322	-
純利益(純損失)	8,075	15.3%	44	0.1%	8,120	-

営業外費用の内訳

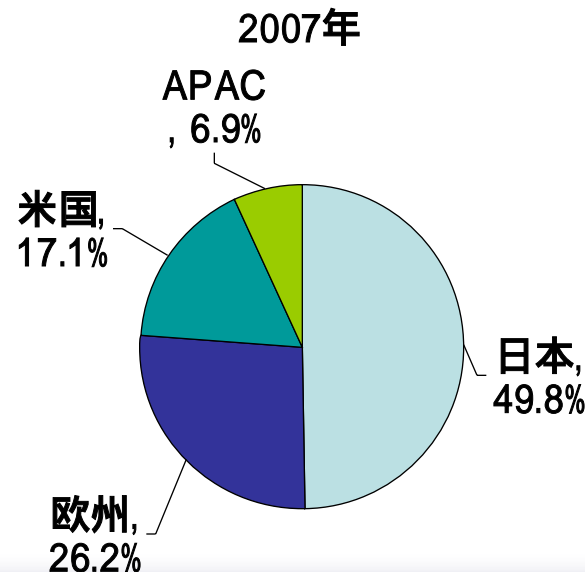
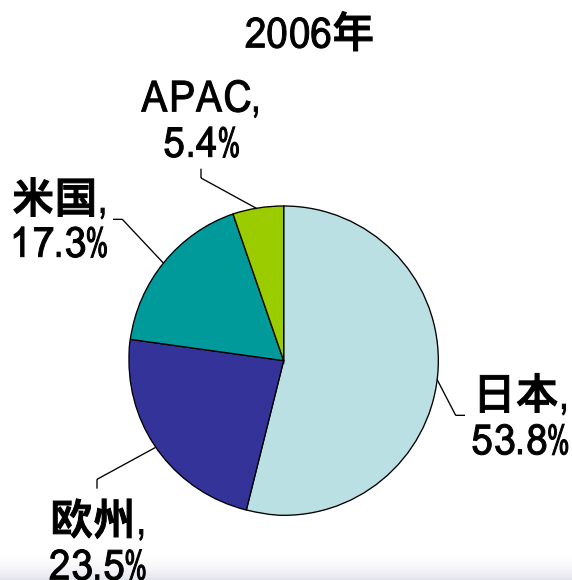
支払利息	406,131千円
為替差損	246,905千円
為替予約評価損	26,013千円
持分法による投資損失	4,579千円
コンプライアンス対応費用	77,473千円
その他	119,254千円

特別損失の内訳

固定資産売却損	2,039千円
固定資産除却損	17,113千円
投資有価証券評価損	269千円
投資有価証券売却損	403千円
減損損失	392,189千円
社債償還額	58,000千円
事業再編費用	147,524千円
訴訟関連費用	105,215千円
その他	112,008千円

地域別・事業別の売上高 (単位:百万円)

	日本 (コレガ含む)		米国		欧州		アジア(日本以外) オセアニア		合計	
	2006年	2007年	2006年	2007年	2006年	2007年	2006年	2007年	2006年	2007年
売上高	28,363	26,847	9,120	9,224	12,405	14,130	2,840	3,696	52,729	53,899
ネットワーク 機器	28,363	26,847	6,473	6,082	9,920	11,848	2,840	3,696	47,596	48,473
IPトリプルプレイ (構成比)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,647 (29.0%)	3,142 (34.1%)	2,485 (20.0%)	2,282 (16.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5,132 (9.7%)	5,424 (10.1%)

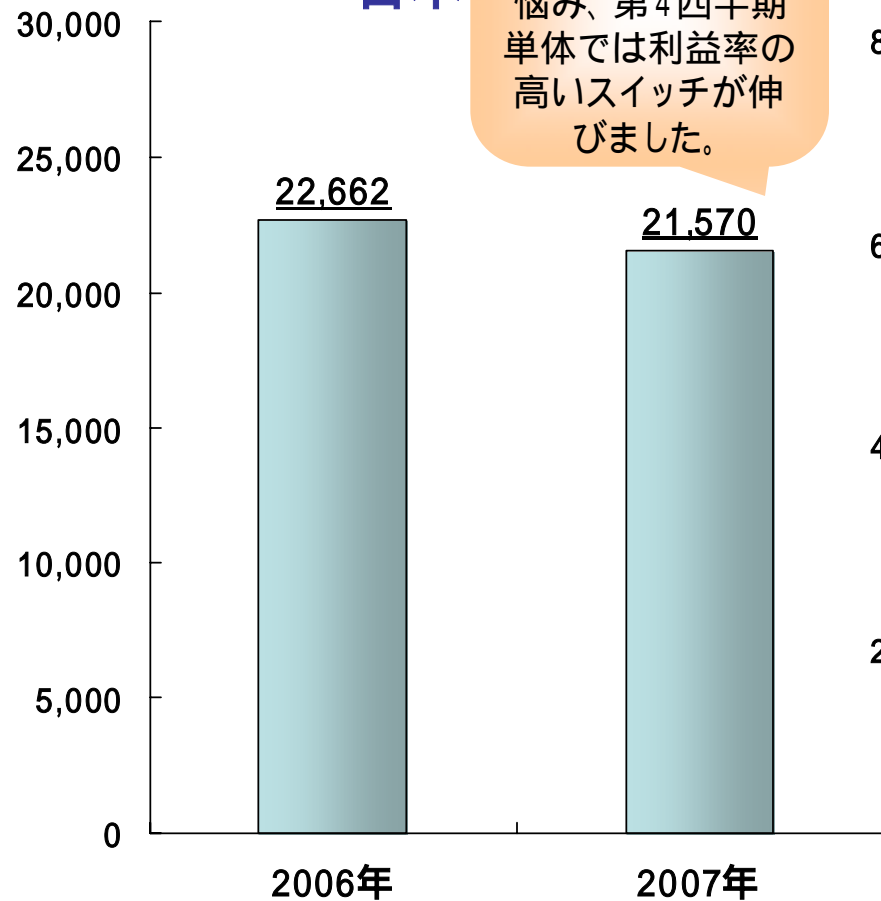


地域別概況と売上高

(単位:百万円)

日本

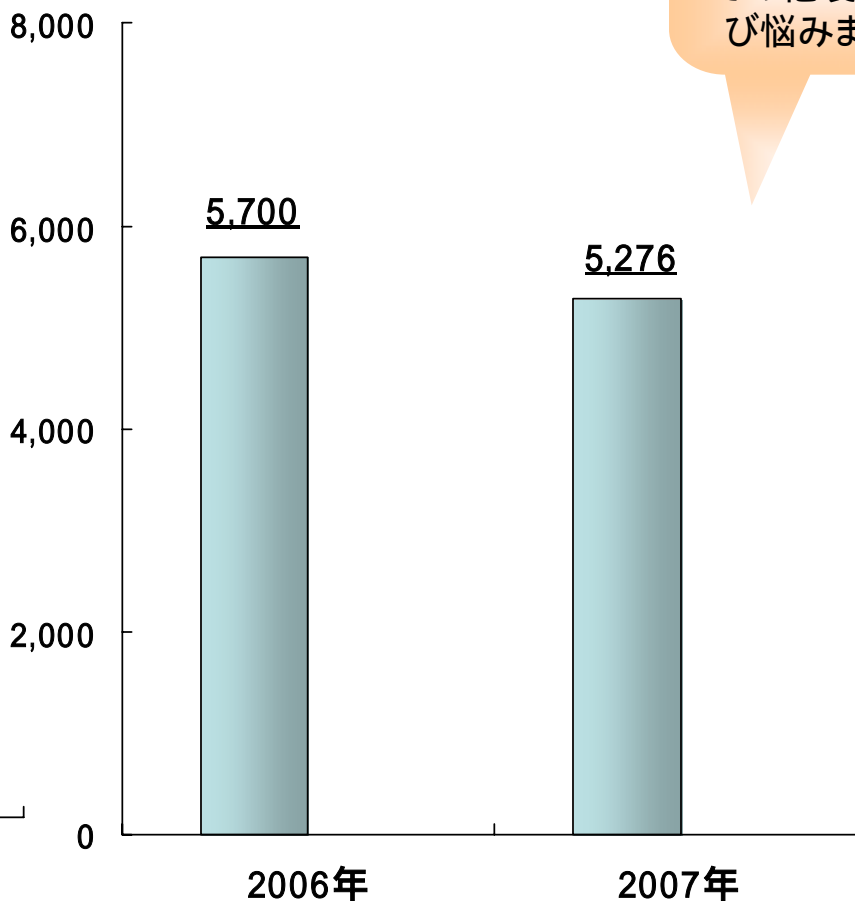
ネットワーク機器市場の端境期により、通期では伸び悩み、第4四半期単体では利益率の高いスイッチが伸びました。



(単位:百万円)

コレガ

ワイヤレス製品スイッチ製品が伸びたものの、その他製品が伸び悩みました。



地域別概況と売上高

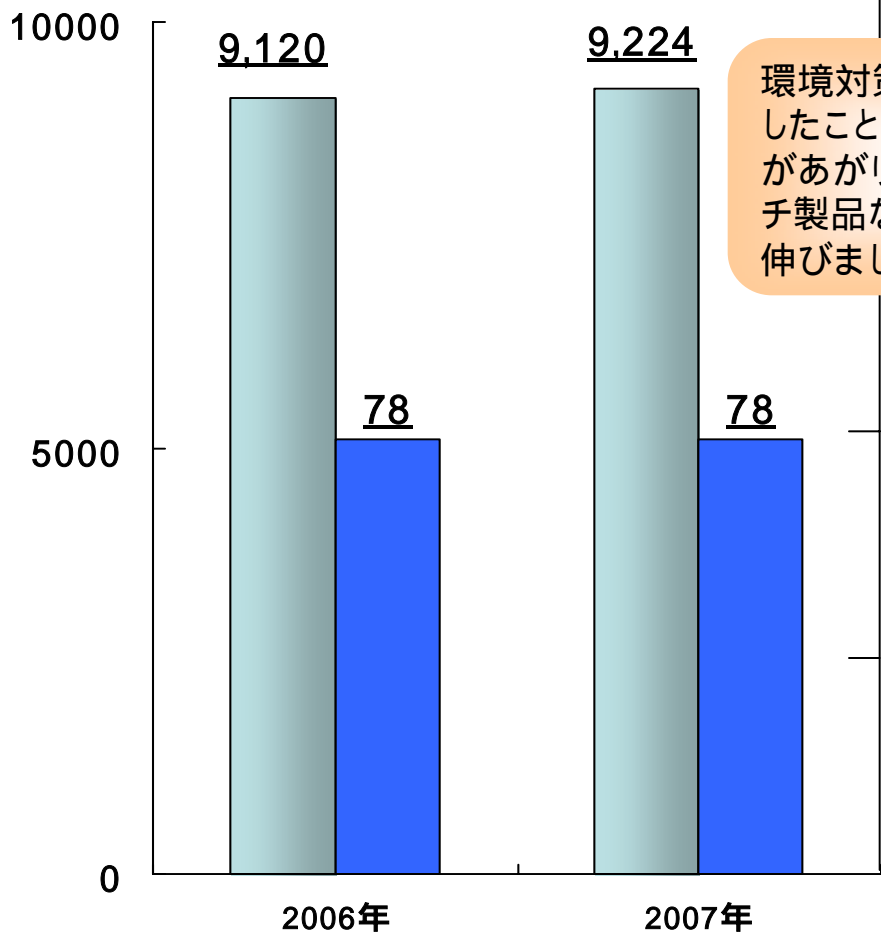
(単位:百万円)

米国

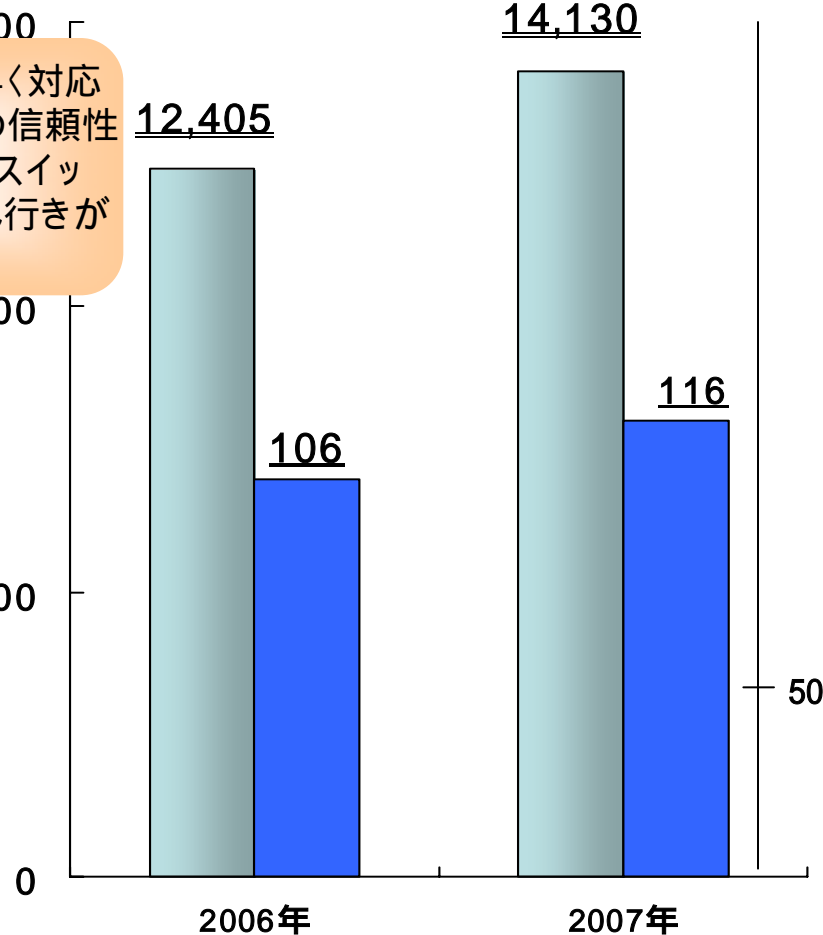
(単位:百万US\$)

欧州

(単位:百万US\$)



環境対策にいち早く対応したことで、製品の信頼性が上がり、主力のスイッチ製品などの売れ行きが伸びました。



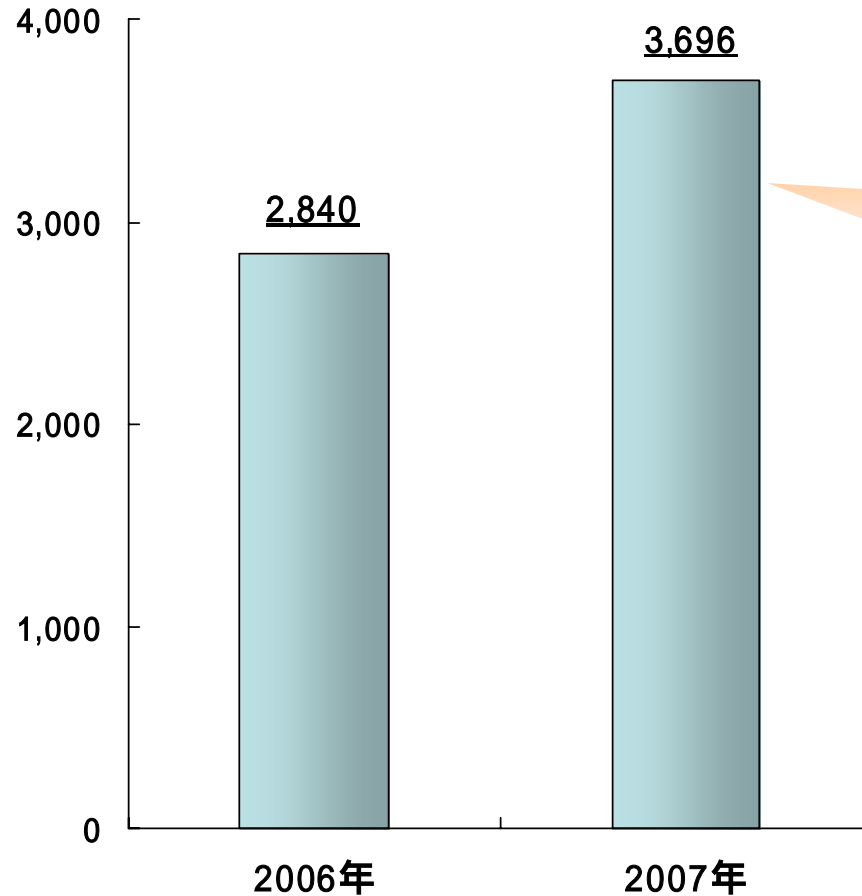
■ 売上高(日本) ■ 現地通貨ベース

■ 売上高(日本) ■ 現地通貨ベース

地域別概況と売上高

アジア・オセアニア

(単位:百万円)







中国などを中心に、ネットワーク機器需要があり、レイヤー3スイッチ製品が好調となりました。

販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

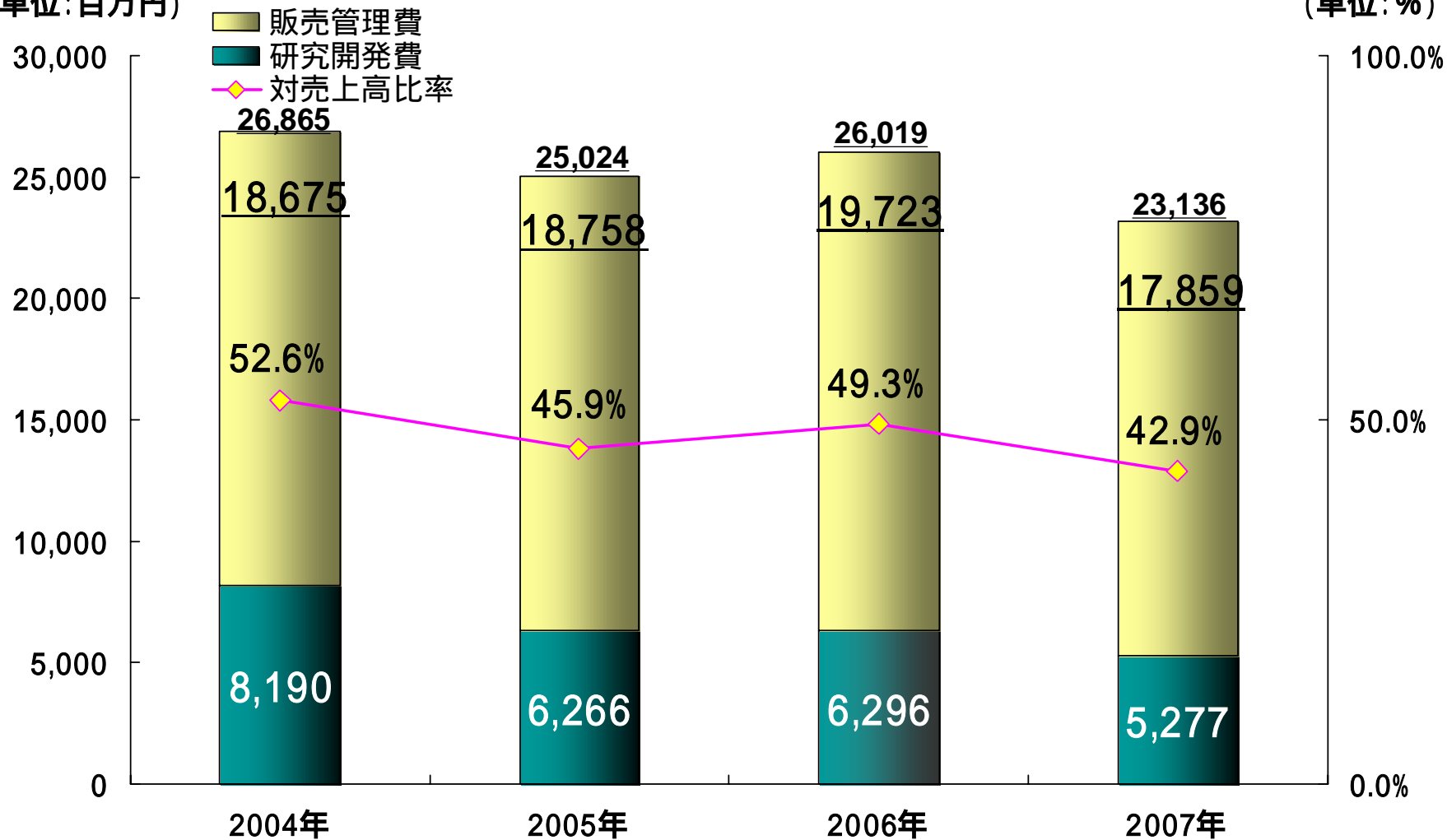
	2006年12月期	2007年12月期	増減
販売費及び一般管理費	26,019	23,136	2,883
人件費	10,422	9,616	806
研究開発費 (対売上高比率)	6,296 (11.9%)	5,277 (9.8%)	1,019 (2.1%)
その他営業費用	9,299	8,243	1,056
人員数	2,521	2,285	236

- 人員は2,521人(2006年12月末) 2,285人(2007年12月末)  236人減少
- 2005年より実施している人員削減効果が顕現して人件費は前期比8億円の削減となりました。 
- 研究開発費はIPトリプルプレイ事業への開発投資が一段落し、ネットワーク機器事業へウェイトを移した結果、前期比約10億円の削減となりました。 
- その他営業費用は、利益率の高い案件に絞ったことによる外注費の圧縮、広告宣伝費、旅費交通費等の圧縮により約10億円の削減となりました。 

販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

(単位:%)



連結貸借対照表

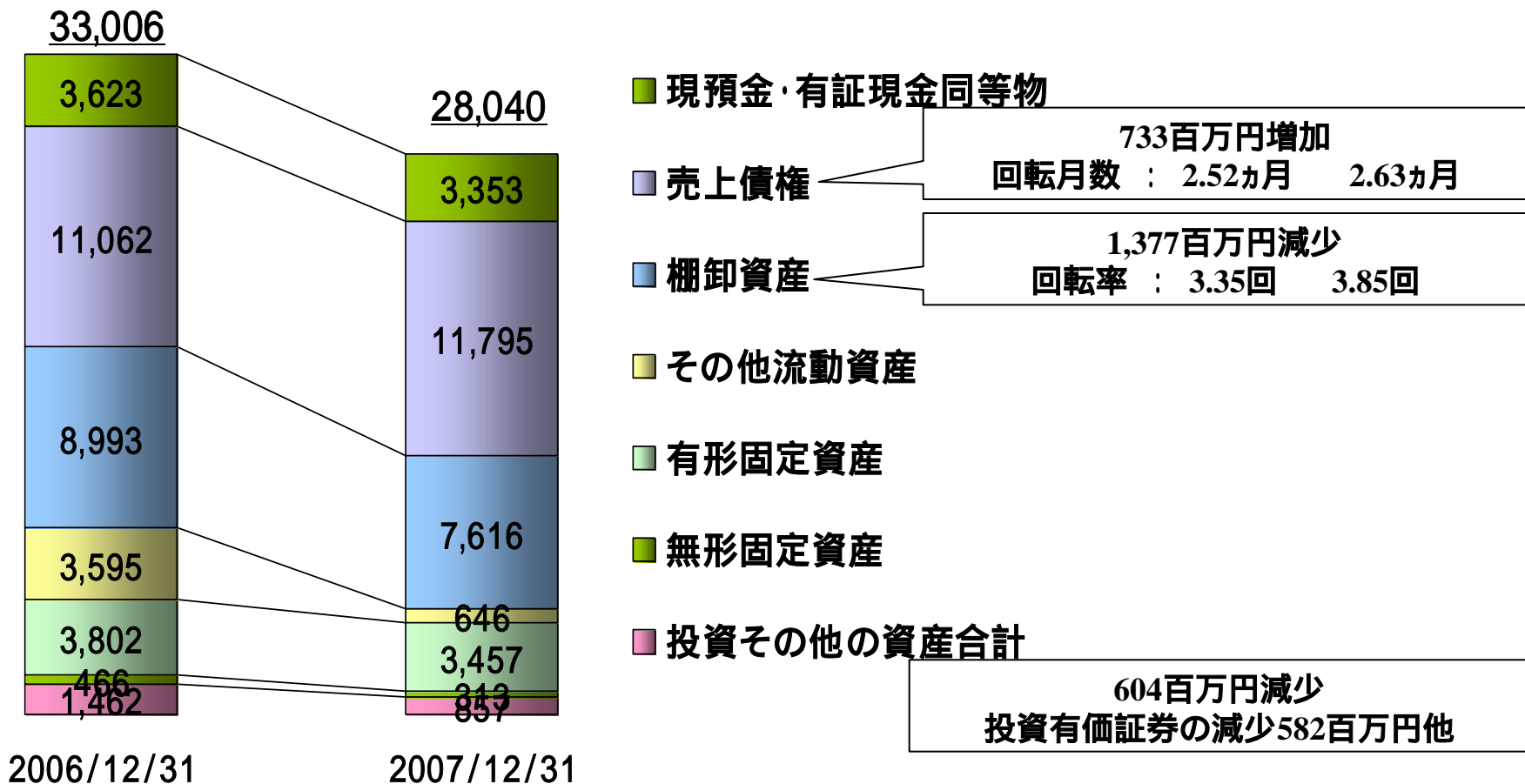
(単位:百万円)

(単位:百万円、切捨て)	06/12	07/12	増減額	(単位:百万円、切捨て)	06/12	07/12	増減額
流動資産	27,274	23,411	3,862	流動負債	18,300	14,109	4,190
現金及び預金	3,497	3,353	144	支払手形及び買掛金	5,855	4,803	1,052
受取手形及び売掛金	11,062	11,795	733	短期借入金	4,351	3,889	462
有価証券	125	8	117	一年以内返済予定長期借入金	3,247	1,081	2,166
たな卸資産	8,993	7,616	1,377	その他	4,847	4,336	511
預け金	2,000	0	2,000	固定負債	6,325	940	5,384
その他	2,267	1,476	791	社債	4,314	0	4,314
貸倒引当金	672	830	158	長期借入金	1,326	249	1,077
固定資産	5,731	4,629	1,102	純資産(少数株主持分・資本)	8,381	12,991	4,610
有形固定資産	3,802	3,457	345	株主資本	8,345	12,605	4,260
無形固定資産	466	313	153	評価・換算差額等	16	130	146
投資その他の資産	1,462	857	605	新株予約権	51	255	204
資産合計	33,006	28,040	4,965	負債及び純資産合計	33,006	28,040	4,965

- たな卸資産はグローバル在庫管理体制構築によりタイムリーな製品供給を実現し前期末比約13億円減少。
- 預け金はユーロ円C B (バンクAIG引受) 買入消却に伴うエスクロー口座解約により前期末比20億円減少。
- 長短借入金は前期末比約37億円減少し、社債はユーロ円C Bの株式転換および買入消却により同約43億円減少。
- 新株予約権の行使により純資産は前期末比約46億円増加し、自己資本比率が向上。(前期末25.2% 当期末45.4%)

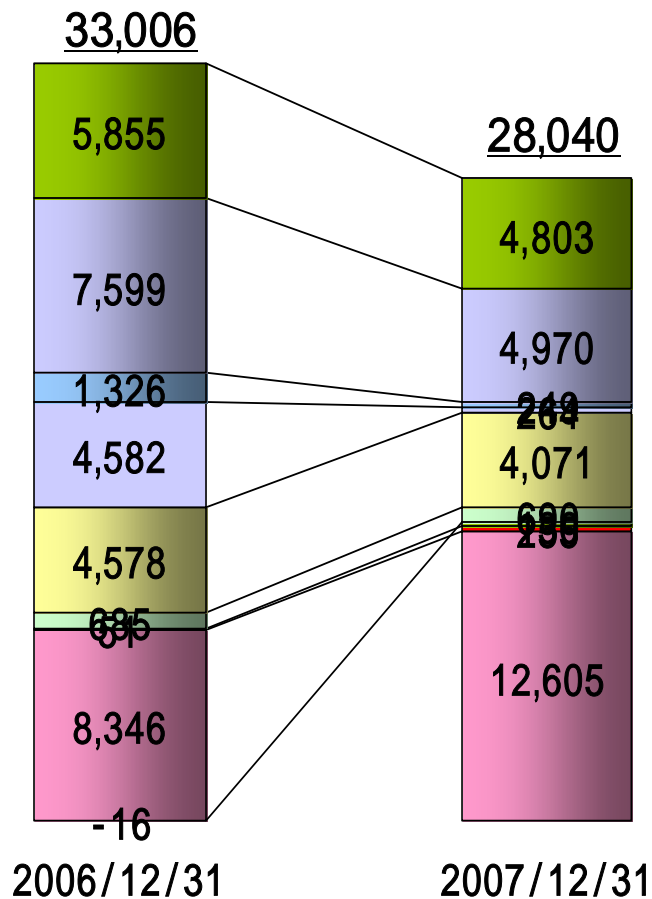
資産の状況

(単位:百万円)



負債・資本の状況

(単位:百万円)



■ 支払手形及び買掛金

1,052 百万円 減少

■ 短期借入金

2,629 百万円 減少

■ 長期借入金

1,076 百万円 減少

■ 社債

4,318 百万円 減少

■ その他流動負債

■ その他固定負債等

■ 評価・換算差額等合計

■ 新株予約権

■ 株主資本

新株予約権行使等により純資産は4,610百万円増加。自己資本比率は25.2%から45.4%に上昇。

資本勘定の動き

資本の部

(単位:百万円)

	2006年12月	2007年12月	増減
資本金	7,697	9,805	2,108
資本剰余金	9,828	11,935	2,107
利益剰余金	9,167	9,122	45
自己株式	12	12	0
その他有価証券評価差額	36	1	35
繰延ヘッジ損益	49	0	49
為替勘定調整勘定	102	129	231
新株予約権	51	255	203
資本合計	8,346	12,605	4,259
発行済株式数 (単位:千株)	109,356	156,770	47,414
自己資本比率 (%)	25.2	45.4	20.2

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

(単位:百万円)	2006/12	2007/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,942	5,415
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,383	683
財務活動によるキャッシュ・フロー	755	5,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	593	703
現金及び現金同等物の増加額	789	323
現金及び現金同等物の期首残高	3,775	2,985
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,985	2,662

主要な内訳 (単位:百万円)

・営業活動によるキャッシュ・フロー

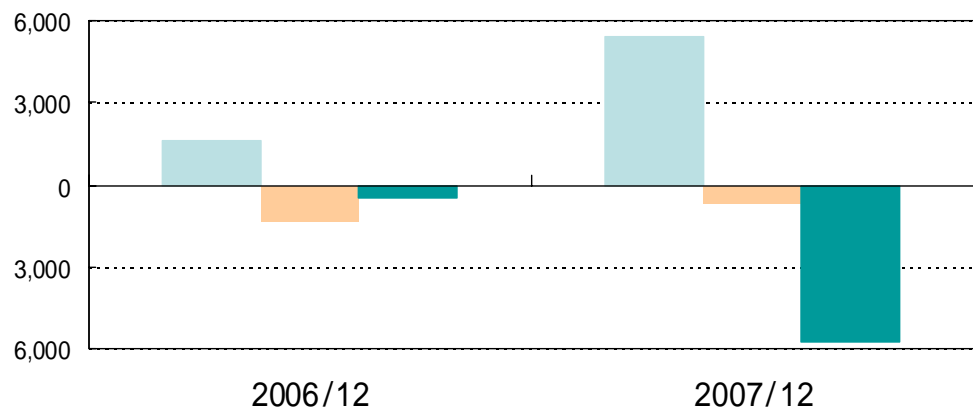
税金等調整前純利益	655
減価償却費	1,323
売上債権の増加	345
仕入債務の増加	676
たな卸資産の減少	1,200

・投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得	928
無形固定資産の取得	300
投資有価証券の売却	1,162

・財務活動によるキャッシュ・フロー

預け金払戻	2,000
短期借入金純減少額	2,617
長期借入金の返済	3,484
社債償還	1,772



2008年計画

2008年計画

(単位:百万円)

	2008年計画	2007年実績	増減(%)
売上高	54,700	53,899	1.5%
売上総利益	24,870	24,590	1.1%
売上総利益率	45.5%	45.6%	0.1pts
研究開発費	4,860	5,277	-7.9%
その他販管費	17,140	17,859	-4.0%
営業利益	2,870	1,453	97.5%
経常利益	1,950	745	161.7%
税引前利益	1,950	655	197.7%
当期利益	970	44	2104.5%
EPS (円)	6.19	0.28	
為替レート(円/USD)	105	118	

2008年計画

ネットワーク 機器事業

ギガネットワーク対応製品の充実により、さらなる増収・増益、シェアの確保を狙います。

SwitchBlade x908をコアに、トータルなネットワークソリューションを提案。

IPトリプルプレイ 事業

引き続きコスト削減をし、利益の向上を目指します。

先進トリプルプレイ市場への成長に対して大手システムインテグレーター(主にIBM)との連携を強化。

研究開発

ネットワーク機器に対する開発投資にウェイトを移します。

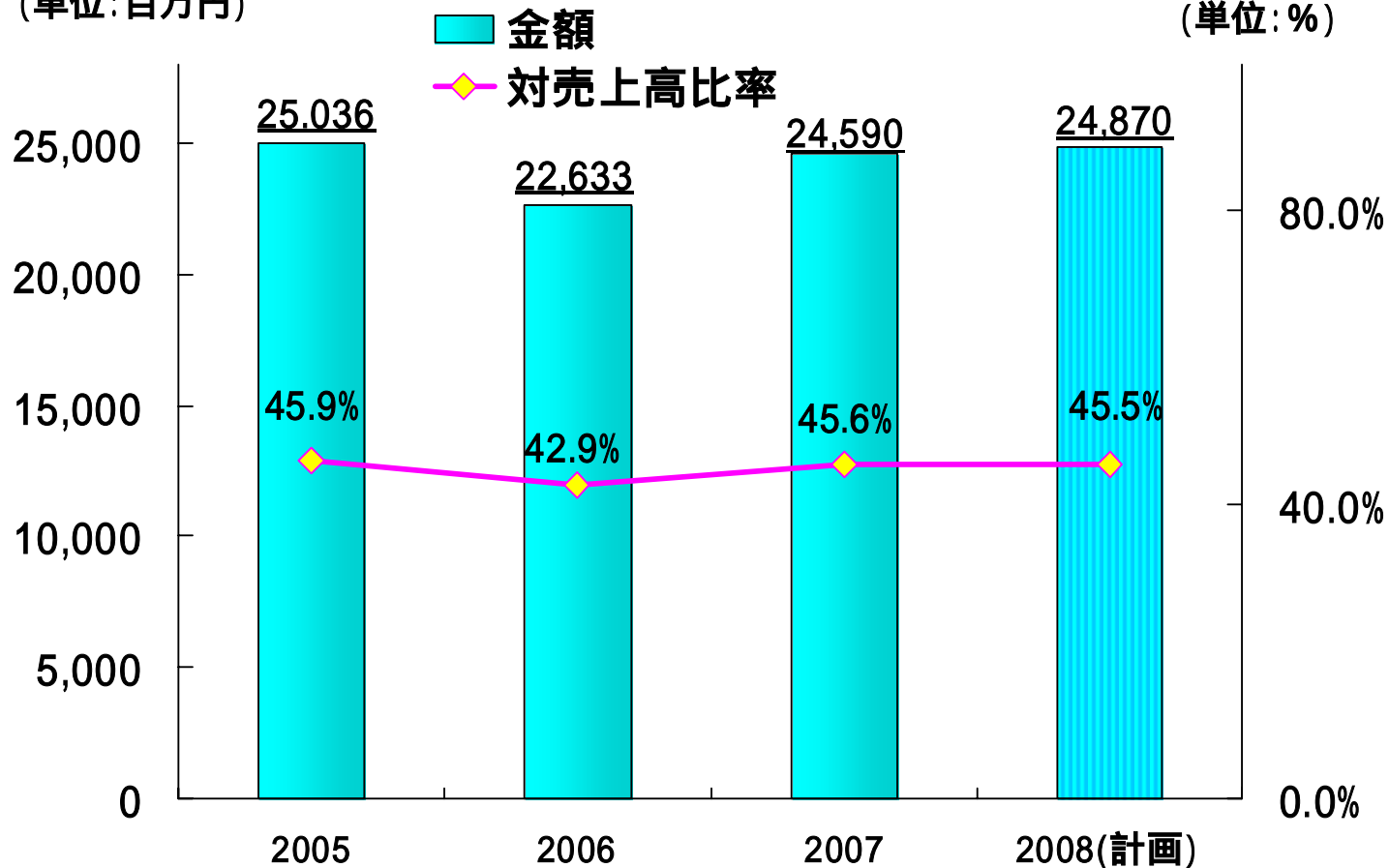
一定の割合を引き続き投資し、IPトリプルプレイからネットワーク機器へ。

アライドテレシスグループは、前期に引き続き経営効率の向上を図り、製品原価の低減をし、利益の拡大を行なうとともに、中長期的には売上げを成長させ、さらに企業価値の向上につとめます。

2008年計画 売上総利益

(単位:百万円)

(単位:%)

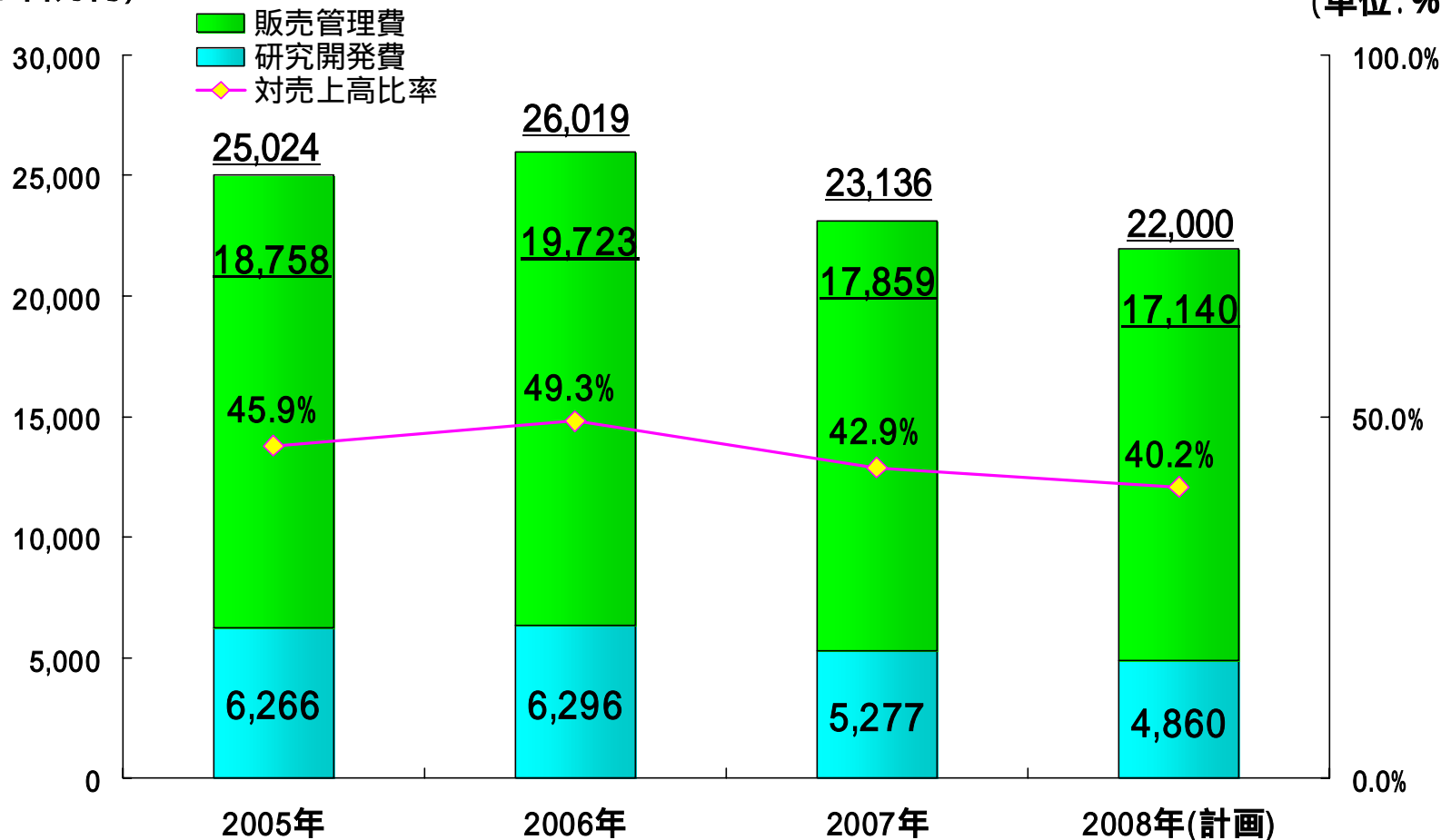


2008年計画

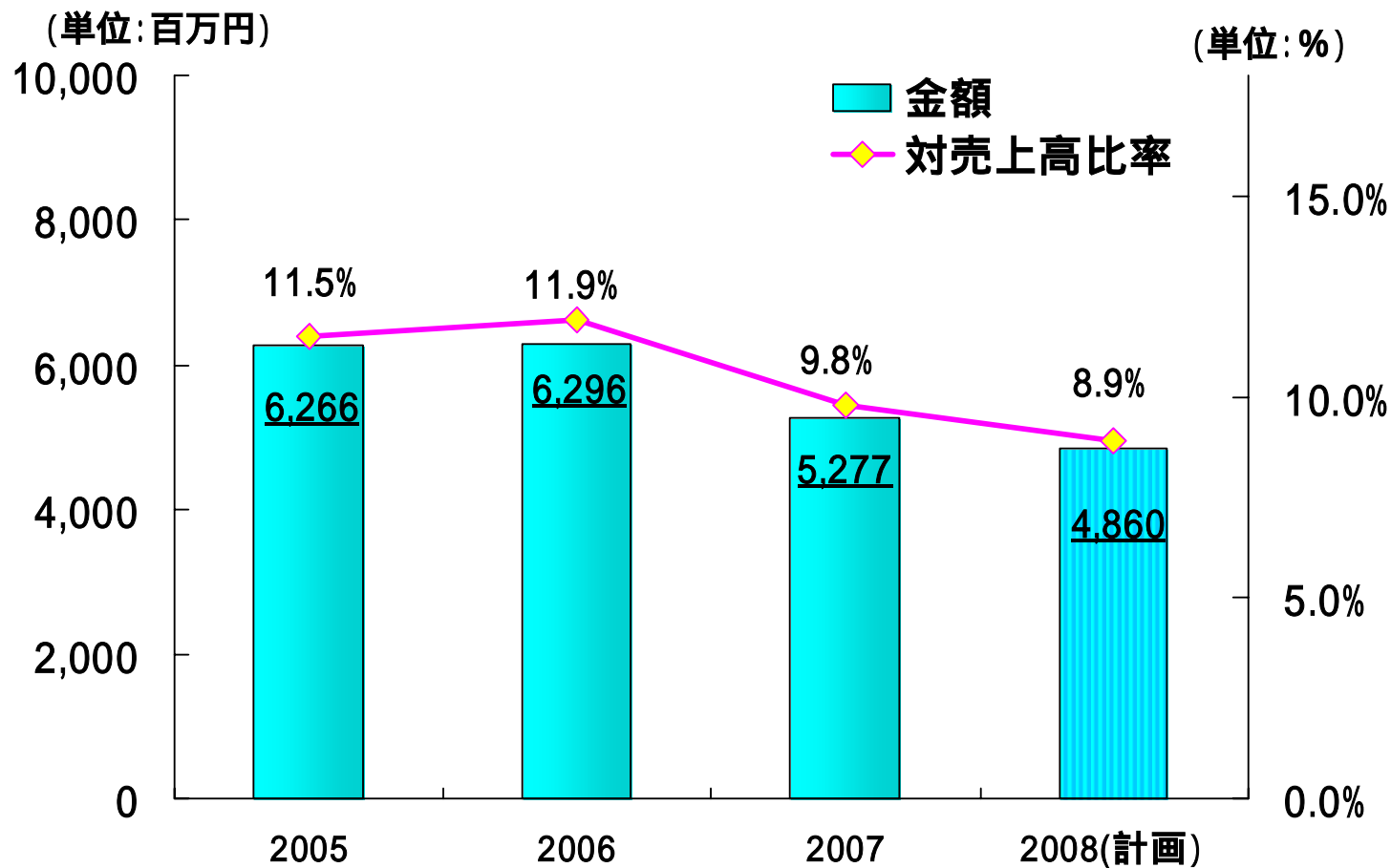
販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

(単位:%)



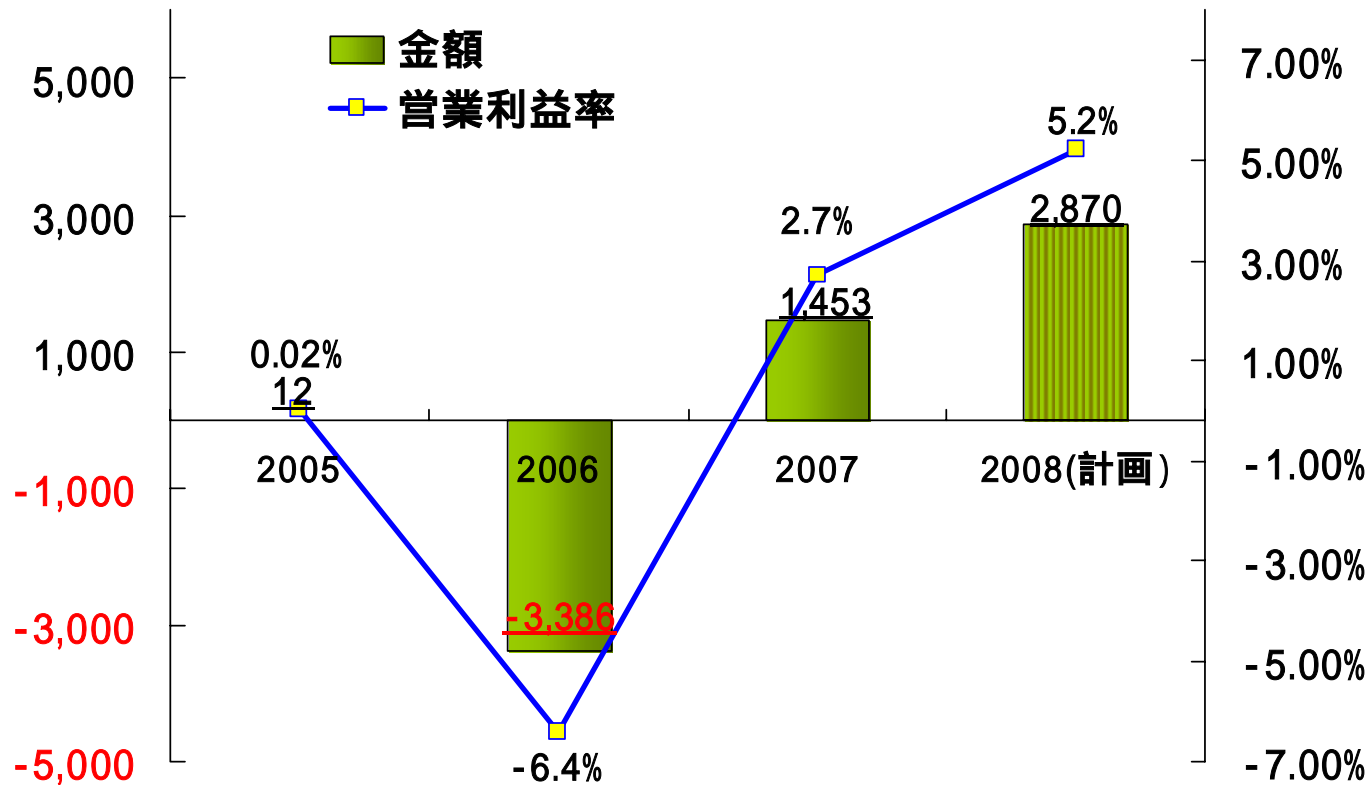
2008年計画 研究開発費



2008年計画 営業利益率の推移

(単位:百万円)

(営業利益率:%)



參考資料

アライドテレシスホールディングス(株)

設立	1987年3月
資本金	98億510万円 (2007年12月31日現在)
上場	2000年7月 (東証2部 証券コード:6835)
発行済株式数	156,826,421株 (2007年12月31日現在)
株主数	18,108名 (2007年12月31日現在)
単元株式数	100株
従業員	2285名 (グループ全体)
海外拠点	21ヶ国
連結子会社	国内外40社
連結売上高	538億99百万円 (2007年度)
開発拠点	日本、ニュージーランド、米国、イタリア フィリピン、シンガポール
製造拠点:	シンガポール・中国

当社の事業戦略

ネットワーク機器事業とは

20年にも及ぶネットワーク機器の総合メーカーとして築いてきた事業で、アライドテレシスグループの中核をなすべき事業

**ネットワーク機器事業
流通・販売・サポートサービス**

研究・開発事業

IPトリプルプレイ事業

IP-GSP

NSP

研究・開発事業とは

ネットワーク機器の総合メーカーとして絶えず進化するIPネットワーク社会に最先端の技術開発により、市場性の高い安定したネットワーク機器を開発する事業

IP-GSP(グローバル・サービス・プロバイダー)とは

サンノゼ大学、横田基地を始めとする限られたエリアに対してグローバルにネットワーク回線を通じてビデオコンテンツなどさまざまなコンテンツを配信し、長期契約による安定した収益をもたらす事業

NSP(ネットワーク・サービス・プロバイダー)とは

大手システムインテグレーターとの強固な関係により欧米におけるIPトリプルプレイ市場の拡大を狙う事業

ネットワーク機器事業 流通・販売・サポートサービス



1987年日本におけるネットワーク機器の総合メーカーとして築いてきた流通網、システムインテグレーターへの販売網により、年間100万台以上の機器を販売。アライドテレシスグループの中核をなすべき事業

流通パートナー



大手流通パートナー提携

戦略パートナー



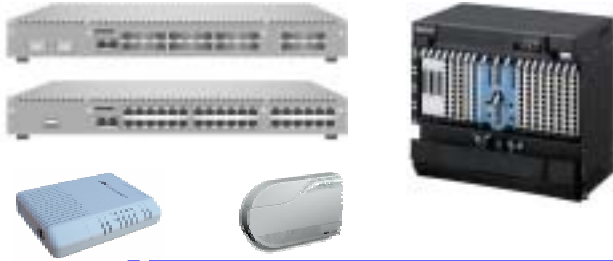
150社以上との販売提携

20年間で100万社以上のエンドユーザへ販売

IPトリプルプレイ事業

NSP (ネットワーク・サービス・プロバイダー)

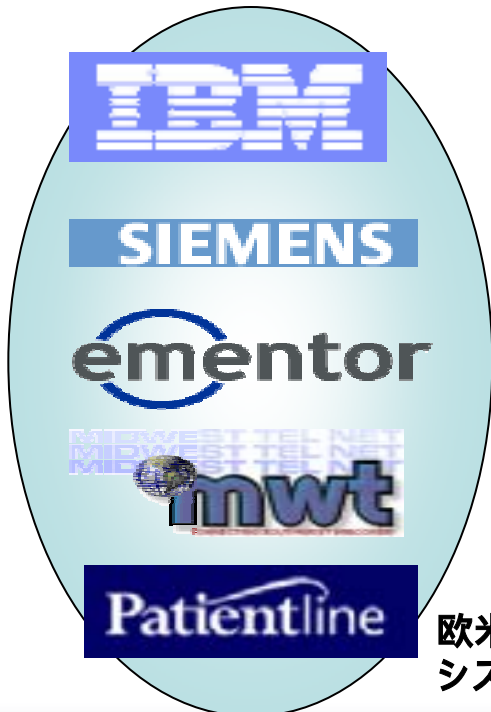
IBMをはじめとする欧米の大手システムインテグレータとともにIPトリプルプレイ市場拡大へ向け活動し、2010年には総額でおよそ200億ドルの市場規模と予想される市場に、いち早くリーチしマーケットリーダーとしての地位を築くべく拡大中。



初期投資が小規模で、安定したサービスネットワーク環境を実現

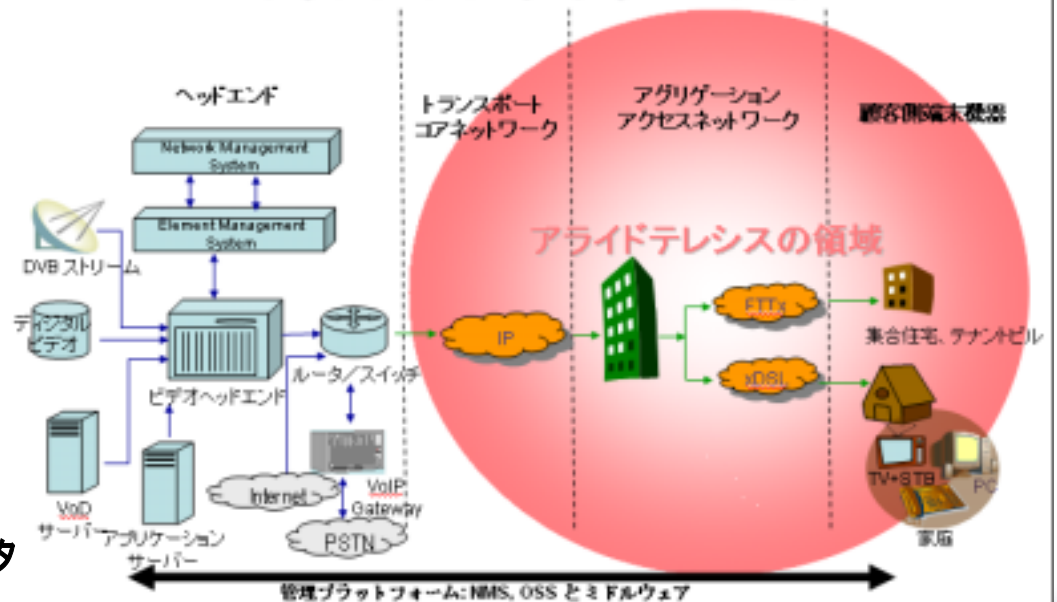
IPトリプルプレイ・サービスの実現に必要なとされる技術

- 高速なバックボーンの構築
- 拡張性の高いアクセス網の構築
- 通信品質を保持する信頼性
- QoS
- 映像伝送の最適化
- 運用管理の容易性



欧米での多数のシステムインテグレータ

アライドテレシスグループのIPトリプルプレイ・ソリューション



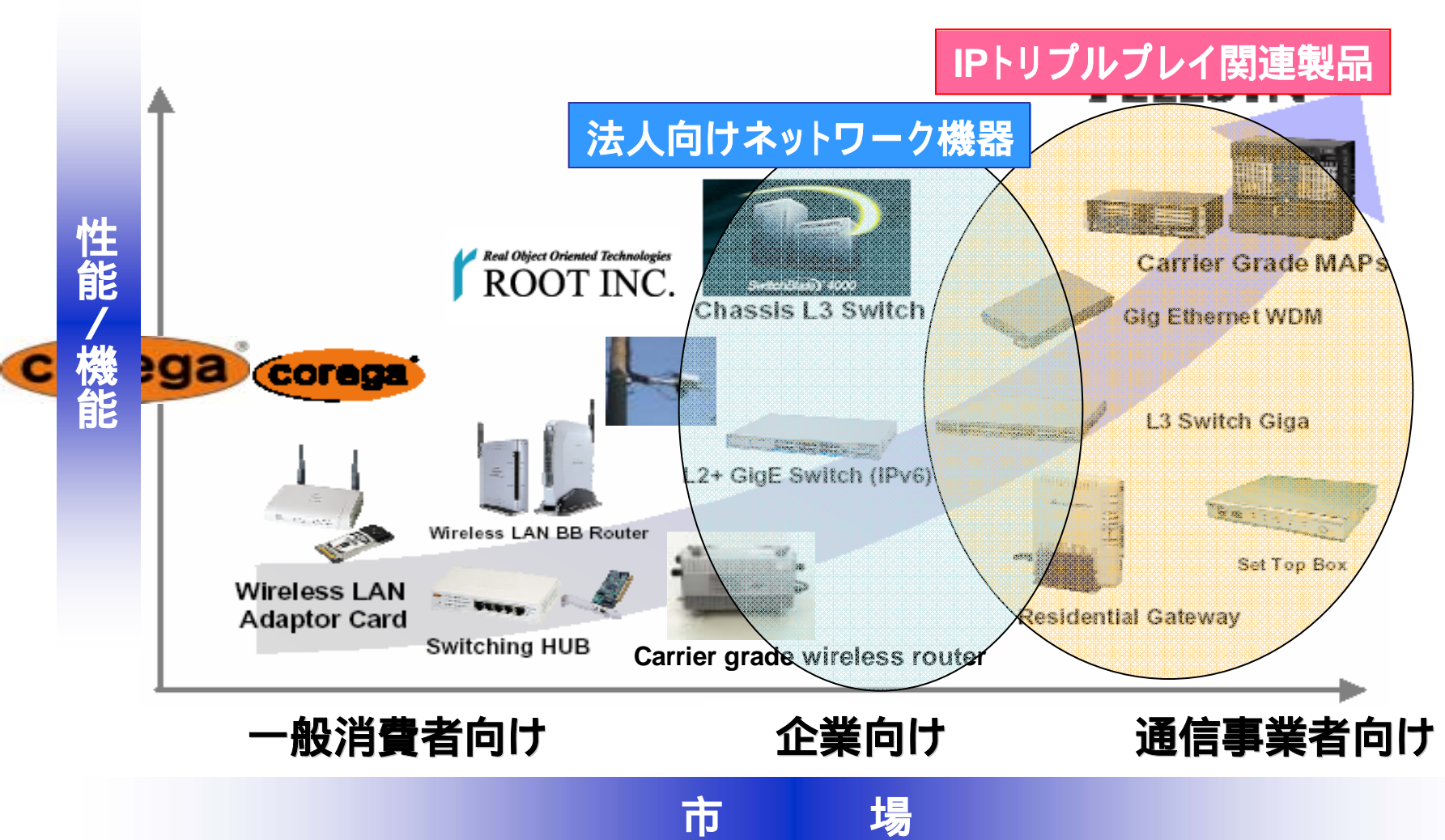
IPトリプルプレイ事業

IP-GSP (グローバル・サービス・プロバイダー)

サンノゼ州立大学、横田基地を始めとする限られたエリアに対して、ネットワーク回線を通じて**グローバルにビデオコンテンツなどさまざまなコンテンツを配信**し、長期契約を締結することにより年間数億円の売り上げを長期的に確保
市場は世界ブロードバンド配信地域へ



ターゲット市場と製品





アライドテレシスホールディングス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル
IR部

Tel:03-5437-6007 Fax:03-5437-6735
<http://www.at-global.com/>

資料取扱いの注意：本資料に記載されている、将来の当社業績に関する見通し事業計画及び戦略等は、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の属する情報通信・ネットワーク関連機器市場は、テクノロジーの変化のスピードが速く、競争も激しい上に、世界経済、為替など当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因があります。したがって、実際の業績は、これら見通しとは大きく異なる可能性があることをお含みおきください。なお本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断で行われるようお願いいたします。